

フォーラムエイト

CES2023に「F8VPS」出展

メタバースを主力に訴求

VRショールームで応用例デモ

フォーラムエイト(東京都港区)は、2023年1月5-8日に米国・ラスベガスで開催された世界最大の民生技術の展示会「CES2023」に出展した。メタバース構築環境「F8VPS(フォーラムエイトバーチャルプラットフォームシステム)」を最前面に置き、シミュレーション、CG、ゲームエンジンなど、同社が持つ多様なアセットを盛り込んだブースは、体験を希望する来場者が絶えることがなかった。

★絶好のロケーション

CES2023では、展示はゾーンごとに区切られている。ゾーン間に仕切りはなく、天井から吊されるパネルでゾーン名が分かる程度だ。しかし、出展企業と来場者の

幅広い業種からの要望に対応

統合型3DCGソフトやゲームエンジンも

色合いが異なり、そのゾーンの雰囲気を示している。CES中心会場の一つ、ラスベガス・コンベンションセンター(LVCC)セントラルホールの、最も入口に近い一角は「ゲームメタバースXR」

「自動車関連の展示が集まるウエストホールに出展する」という選択肢もあったが、やはり今、話題の中心はメタバース。それ故に、ここに決定した」と語る。

同社は、シミュレーター分野でも高い技術力

「自動車の展示が集まるウエストホールに出展する」という選択肢もあったが、やはり今、話題の中心はメタバース。それ故に、ここに決定した」と語る。

同社は、シミュレーター分野でも高い技術力

「自動車の展示が集まるウエストホールに出展する」という選択肢もあったが、やはり今、話題の中心はメタバース。それ故に、ここに決定した」と語る。

同社は、シミュレーター分野でも高い技術力

「自動車の展示が集まるウエストホールに出展する」という選択肢もあったが、やはり今、話題の中心はメタバース。それ故に、ここに決定した」と語る。



展示の中心は、メタバース構築環境「FORUM8 Virtual Platform System F8VPS」で、バーチャルショールームの様子をデモしていた



HMDを装着してVRモーション・シートに座るとジェットコースターを体験できるデモコーナーは、希望者の列ができていた



VRシミュレーションソフトとして定評ある「UC-win/Road」によるドライブシミュレーターに「試乗」する来場者も多かった



フォーラムエイトの伊藤裕二社長

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は

ソーンとして、世界約60の関連企業が集まった。このゾーンの中央通路(大通り)に面した、最も人通りの多い場所にブースを構えたのがフォーラムエイトである。同社の伊藤裕二社長は



統合型3DCGソフト「Shade3D」とゲームエンジン「Suite CHIDORI Engine」も出展され、VRを支える幅広い製品群がそろっていることを印象づけていた

GGAPHのVRビレッジに出展された有名な作品である。伊藤社長は、今後同社の技術が幅広い産業で使われていくことに期待を寄せた。「デジタルツインの応用は大きく広がる」として、土木建築分野の有望性を指摘した。

「ダム建設工事における重機3Dリアルタイムモデル」が期待され、今後裾野の拡大が期待される。会場では、これらを応用して、スマートフォンが受賞している。自動車を制御するシステムと「UC-win/Road」が連携して、遠隔に実時間で状況監視を実施しつつ、緊急停止を発令できるシステムが構築されている。

昨年同社が主催した「第16回3DVRシミュレーション・コンテスト」では、グランプリ(最優秀賞)に、大成建設の「ダム建設工事における重機3Dリアルタイムモデル」が期待され、今後裾野の拡大が期待される。会場では、これらを応用して、スマートフォンが受賞している。自動車を制御するシステムと「UC-win/Road」が連携して、遠隔に実時間で状況監視を実施しつつ、緊急停止を発令できるシステムが構築されている。

「デジタルツインも伊藤社長は、今後同社の技術が幅広い産業で使われていくことに期待を寄せた。「デジタルツインの応用は大きく広がる」として、土木建築分野の有望性を指摘した。